

# MEIKO CSR REPORT 2 0 1 9







MEIKO CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY

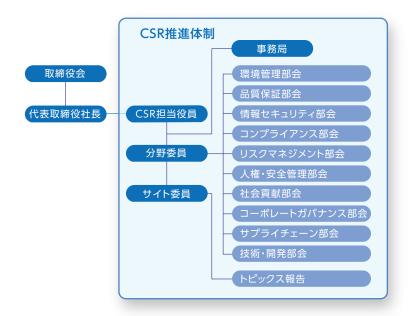
# 世界で最も信頼される 電子回路基板メーカーへ

#### メイコーのCSR宣言

メイコーは、経営理念に基づき、 良き企業市民として社会的責任を果たし、 事業活動を通じて 地球環境と社会の持続的発展に貢献します。

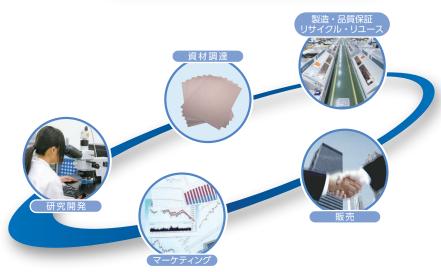
#### ■CSR推進体制

メイコーのCSR推進体制は、工場、営業所などの事業所を単位とする各サイト委員と、会社としての横串機能で分けられた各分野委員で構成されています。これによりグループの全領域をカバーしCSR宣言に基づく活動を展開するとともに、すべてのステークホルダーの皆様への誠実な対応を可能にしています。



## ■バリューチェーンを通じた メイコーのCSR活動

資材調達、製造を経て製品をお客様にお届けし、研究開発によりさらなる改善を実施する一連の事業活動を通して社会的責任を果たしていくこと。メイコーは、バリューチェーンを通じた一貫性のあるCSR活動により、関係するすべてのステークホルダーから信頼される事業活動に取り組んでまいります。



#### 編集方針

#### 『CSRレポート2019』の発刊にあたって

当社にとって12回目の報告書となる『CSRレポート2019』を発刊いたします。本報告書は、「トップメッセージ」「社会性報告」「環境報告」「マネジメント報告」の構成で編集いたしました。ぜひ多くの方々に本報告書をご覧いただきたく、また良き企業市民として皆様の信頼を得られますよう社員一同責任ある行動を心がけておりますことを、報告書の一端からでもお汲み取りいただければ幸いです。

#### ●対象読者

株式会社メイコーに関わるすべてのステークホルダー

#### ●対象組織

株式会社メイコーおよび関連会社

#### ●報告期間

原則として2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日)のCSR活動について報告しています。活動事例の紹介については一部過去の情報も掲載しています。また、最新の情報をお伝えするために、2019年4月以降の情報も紹介しています。

#### ●参考にしたガイドライン

- ・「環境報告ガイドライン2018年版」(環境省)
- ・GRI「サステナビリティ レポーティング スタンダード 2016」

#### ●発行時期

今回 2020年2月

※ 本文中で「メイコー」と表記しておりますが、株式会社メイコーおよび関連会社を含むメイコーグループ全体を表しています。

#### ■ ISO26000対照表

#### 消費者課題

## お客様に向けて→P5

#### 人権

従業員に向けて→P11

#### 労働慣行

従業員に向けて→P13

#### 公正な事業慣行

- お取引先様に向けて→P9
- 株主様・投資家様に向けて→P14

#### コミュニティへの参画 および コミュニティの発展

#### ●地域社会に向けて→P15

#### 環境

- ●環境基本方針→P17
- ●環境経営推進体制→P18
- ●地球温暖化の防止→P19●資源の循環利用→P21
- ・貧源の循環利用→P21
- ●生態系の汚染防止→P22
- ●製品含有化学物質管理→P23

## 組織統治

- •コーポレートガバナンス→P25
- ●内部統制→P26
- ●コンプライアンス活動→P27
- ●情報セキュリティ→29
- ●リスク管理体制→P30

#### ■ EICCフレームワーク

四側面 + マネジメントシステムにより 持続可能な労働環境を目指す

#### 労働 従業員に対する 尊厳と敬意

#### 環境保全

地球環境への配慮

マネジメントシステム

#### 安全衛生

危険に対する 評価及び管理

#### 倫理

高い 倫理基準の維持

#### 業界の統一基準

- 1. シンプル
- 2. 効率的
- 3. 業界内で幅広く活用が可能

## **INDEX**

#### 01 メイコーのCSR

#### 03 トップメッセージ

#### 05 社会性報告

お客様に向けて お取引先様に向けて 従業員に向けて 株主様・投資家様に向けて 地域社会に向けて

#### 17 環境報告

環境基本方針 環境経営推進体制 地球温暖化の防止 資源の循環利用 生態系の汚染防止 製品含有化学物質管理

#### 25 マネジメント報告

コーポレートガバナンス 内部統制 コンプライアンス活動 情報セキュリティ リスク管理体制

#### 31 会社概要

# モノづくりを通して、

# 持続可能な社会への実現を目指してまいります

企業は、地域や社会そして地球に密接なつながりを持ち、その一員として存続しています。そして私たちメイコーは、これらに対して果たすべき役割は何かということを常に意識し、社会から受け入れられ信頼される企業になることを目指しています。またその成果を積極的に開示し、モノづくりを通して、さらなる価値を創造していくことが重要な社会的責任であると考えています。

現在、国内外には様々な社会課題が山積しております。米中の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱など、世界経済は大きく揺れています。その一方で、地球温暖化や化石燃料の枯渇といった問題や、人権問題、自然災害や食料問題などが世界で起こっており、国連でのSDGs (持続可能な開発目標) 採択に見られるように、その解決に向けて企業が果たす役割への期待はますます高まっています。

私たちの事業領域においても、環境負荷の低減といった本業に 直結するもののみならず、多様な社会課題への取り組みが求め られるようになってきました。当社としてもそれに応える重要性を 認識し、持続可能な社会の実現に向けて新たな価値の創造で貢 献していきます。



代表取締役社長 名屋佑一郎

## メイコーグループ経営理念

モノづくりを通して お客様に最高の製品とサービスを提供し 社員と社会に幸福を



#### 企業行動憲章

メイコーグループは、公正な競争を通じて適正な利潤を追求するとともに、

広く社会にとって有用な存在であることを目指します。

そのためメイコーグループは、次の9原則に基づき、国の内外を問わず、

人権を尊重し、法令遵守、グローバルルールおよびその精神を遵守するとともに、高い理念を持って、 持続可能な社会の創造に貢献するグローバル企業として行動いたします。

- 1 社会的に有用で信頼性の高い製品・サービスを品質・安全性や顧客情報の保護に十分考慮して 開発・提供し、お客様の満足と信頼を獲得いたします。
- 2 創造的な技術開発に挑戦し、新規事業の開拓を行い、豊かな未来に貢献します。
- 3 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- 4 株主はもとより、お客様・投資家・お取引先・従業員など、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正・迅速に開示し、企業活動の透明性を高めます。
- 5 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で活き活きと働きやすい環境を実現します。
- **6** 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、地球環境への負荷を軽減し、持続可能な社会づくりに貢献します。
- 7 良き企業市民として、積極的に研究、教育、環境保全、地域社会奉仕などによる社会貢献活動を行い、反社会的勢力および団体とは断固として対決いたします。
- 8 国際的な事業活動においては、グローバルルールやローカルの法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献いたします。
- 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内に徹底するとと もに、グループ企業や取引先に周知させます。また、社内外の声を常時把握し、実効あるガバナンスの整備 を行うとともに、企業倫理の徹底を図ります。

## ■ ステークホルダー

企業は、関係するすべてのステークホルダーとのつながりの中で事業をおこなっています。メイコーでは世界中で働く社員一人ひとりが、CSRをすべての事業活動の中核をなすものと認識し、各々の地域で信頼を得られるよう、社会の一員としての責任を果たしてまいります。

社員 持続可能な社会 企業価値の持続的向上 取引先 株主 販売 企業価値向上 取引先との共存 適切な情報開示 公正かつ適正な取引 **MEIKO** 社会 環 境 製造 開発 地域社会 顧客 最高の価値とサービスの提供 地域社会との共生 顧客満足度の向上 地球環境、地域環境保全の重視

多様性、人格、個性の尊重 安全で働きがいのある職場

## 社会性報告

**SOCIAL REPORT** 

メイコーは様々な国・地域・社会で、さまざまな人々と関わりながら、 産業発展に不可欠な電子回路基板を製造・販売しています。 私たちは、そのような社会的な存在であることを自覚し、 責任を果たしていくとともに、私たちを取り巻く多様な ステークホルダーに配慮し、事業活動を展開しています。

## お客様に向けて 品質保証への取り組み

#### 2018年度の主な活動実績

- 市場不良「ゼロ」を目指し、進行性重大不良 の対策及び他工場への横展開
- 新規品の品質保証取り組みとして、材料信頼性確認及びDR参画による変化点対策の確認
- ■工程総点検による未然防止活動の推進
- ■内部監査の是正と他工場への展開
- 標準委員会活動による全社標準の整備推進

#### 今後の計画

- 市場不良「ゼロ」に向けて、重大不良の真因 究明による対策及び横展開、又再発・慢性不 良の継続的改善
- 未然防止のため、設計段階からの品質改善活動(DR参画)及び品質データの分析による傾向対策
- 工場間バラつき改善のため、内部監査による 弱点抽出と改善及びお客様監査による是正 確認と他工場展開
- 品質マネジメントシステムの維持・改善のため、取引先への品質管理基準書発行
- 標準化委員会活動による全社標準の整備推進

メイコーでは経営理念の実現に向けた「品質方針」を定め、信頼性を向上させることで、お客様の満足度を最高レベルにまで高め、社会に貢献することを目指しています。

#### 品質保証に対する考え方と品質保証組織

近年、車載部品の不具合によるリコール問題等が ニュースになり、企業経営が脅かされるリスクが高 まっています。

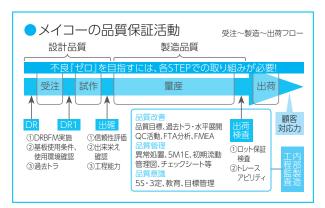
メイコーの製品も車載を中心に様々な製品に採用いただいており、品質の重要性は益々高くなっています。

このリスクに対しては、これまでの発想を変え不良「ゼロ」を目指した活動を進めていかなければなりません。

設計品質、製造品質を高めるために、それぞれの 段階での仕組みを機能させ、不良の発生を未然に 防止する活動を進めています。

#### 顧客ニーズへの品質保証 海外4工場の水平展開

2019年度のグループ経営方針に基づき海外工場および国内工場とともに、顧客ニーズに応えることの



できる製品の品質保証体制を進めてまいります。

グローバル工場を含めた品質保証と管理の強化を目指し顧客の要求に合致したものづくりを実践していきます。

#### お客様より表彰いただきました

● トヨタ自動車株式会社広瀬工場様より 2018年4月27日に「納入品質優秀賞」 をいただきました。「納入部品不具合 ゼロ」の達成による受賞となります。



オムロンオートモーティブ エレクトロニクス株式会社様より

当社のグローバル体制をご評価いただき、2018年5月21日に「最優秀グローバル対応貢献賞」をいただきました。



● 天津电装电子有限公司様より

当社の品質をご評価いただき、2018年6月1日に「品質優良賞」をいただきました。



● 富士ゼロックス株式会社様より

サプライヤーとしての功績が認められ、2019年1月11日に「Premium Partner BRONZE賞」をいただきました。



日本電産エレシス株式会社様より

広州工場、山形工場の品質改善活動の功績が認められ、2019年2月22日に「品質改善賞」の感謝状をいただきました。



#### 顧客満足度調査

メイコーでは製品、サービスの品質の向上を目的として、お客様の製品、サービスに対する満足度の調査を毎年実施しています。

2018年度は57社様からご回答をいただきました。 調査は①製品の品質、②製品の価格、③製品の納 期、④サービス、⑤技術対応の5項目についてご回 答いただきました。

お客様の声として、多くのお客様に満足をしていただいておりますが、一部のお客様からは厳しいご指摘もいただいており、製品、サービス向上のための指針とし、今後より一層お客様に満足していただけるよう努力してまいります。

#### ISO9001、IATF16949の認証取得

メイコーでは、グローバルスタンダードであるIS O9001およびIATF16949を取得し、品質マネジメントシステムの継続的改善に取り組んでいます。

#### ● ISO9001、IATF16949の認証取得

#### ISO9001

1997.05.13 ㈱メイコー 電子回路基板で認証

2002.05.01 中国広州工場認証

2003.01.27 ISO9001:2000による 日本国内統合

01.27 ㈱MDS拡大認証(基板設計)

2006.11.29 中国武漢工場認証

2008.02.20 メタルマスク部拡大認証

2010.06.18 ベトナム工場認証

2014.01.15 石巻工場再取得

2015.04.24 タンロン工場認証

#### IATF16949

2017.08.09 中国広州工場認証 2018.02.14 中国武漢工場認証

2018.09.14 ベトナム工場認証

※国内工場は JET (電気安全環境研究所)、 中国工場は TUV (テュフラインランド)、 ベトナム工場は BVC (ビューローベリタス)より 認証取得しています。



ISO9001 (日本国内)



IATF16949 (広州工場)

## 現場の声

品質保証部 品質保証—課 清水有妃



品質保証部で解析を担当している清水です。 解析の対応範囲は、クレームから工場の品質改善までを 含みます。

様々なメディアで取り上げられていますが、自動運転システムや全方位カメラ等車に使用する電子回路基板は絶対数が増加しており、要求される品質水準もレベルアップしていることを実感しています。

こうした市場環境変化に対応するため、メイコーでは 新しい仕様への挑戦をしており従来起こらなかった要因 での不具合発生が予想されます。

本社解析に求められる役割は、新しい不具合要因に対しての、早く且つ的確な分析だと考えています。新しい不具合要因は、今までのセオリーが通用しないことも予想される為様々な部門からの情報収集や、新手法の導入も視野に入れて準備を進めています。

また、不具合改善は、三現主義に基づき製造工場で解析するのがあるべき姿です。

本社は、解析設備が最も揃っており、解析手法の蓄積も 進んでいます。今後も解析業務のデータベース化・標準 化を更に進め、工場へ展開していきたいと考えます。

新しい時代の品質要求に対して確実に応えていけるよう、データの活用と連携を強化していきます。

## お客様に向けて 基板開発

#### 2018年の主な活動実績

- 高速・高周波基板の要素開発
- 銅インレイ基板の量産化開発
- ■メタルベース高放熱基板の開発
- 部品内蔵基板 (パワーIC内蔵) の開発

#### 今後の計画

- 高速・高周波基板の試作開発
- 高密度配線多段ビルドアップ基板の試作開発
- 放熱基板新規構造、放熱材料および新規工法 の開発

メイコーでは、自動車向けをはじめとするプリント配線板技術により、お客様のご要求に最適なプリント配線板をご提案できるよう商品開発を推進しております。そして、材料・構造・工法にわたり最適化を図ることにより、小型高密度化や高周波、高速動作対応や大電流、高放熱対応を進めるとともに、より信頼性の高いプリント配線板をご提供します。

車載向けとして高い信頼性が要求されるプリント配線板は、走行安全系を始めとして多くのユニットに搭載され、重要な役割を担っています。その車載ユニットを4つのカテゴリーに分け、以下にご紹介します。

#### 走行安全系

ADAS (先進運転支援システム) センサの高精度 化に向けて、高周波材料を使ったハイブリッド構造基 板の要素開発を進めています。また、システム統合に 向けて高速伝送用途でインピーダンス制御基板の 要素開発も進めております。

#### 情報·通信系

ナビゲーションや通信モジュールは、多段ビルドアップ構造で高密度配線のマザーボードが使われます。スマートフォンで培った高密度化技術に加え、車載基準の信頼性アップを進めています。また、5G通信基地局などに対応した高速伝送・低損失となるプリント配線板の開発も進めております。

#### ボディ系

LEDヘッドランプは、メタルベース放熱基板が使われます。低弾性の放熱絶縁樹脂の開発によって、高信頼性を実現しました。また、キャビティ構造の基板開発によって、アダプティブヘッドランプに対応しま

した。その他に制御系に用いられる発熱素子の放熱 経路を目的とした銅インレイ基板を提供しています。 パワートレイン系

インバータ、コンバータ、ジャンクションボックスは、部品内蔵基板にパワーICベアチップを内蔵することで、配線インダクタンスの低減とスイッチング特性の向上を図ったインバータ実機基板にて動作確認を行い、信頼性の向上が確認されました。その他に厚銅基板で工法開発を進め、大電流の要求に対応していきます。

自動車の進化を支える高品質なプリント配線板は、その形を変えて様々な用途に使用されています。今後は、次世代自動車に向けたコネクテッドカーや情報社会の移動通信を支える5G対応のプリント配線板開発を推進していくとともに、IoTをはじめとするデジタル社会の変化に対応した新しい技術に進化させ、プリント配線板の適用範囲拡大に努めて参ります。

〈自動車		〈基板技術〉	〈状況〉	
土にウヘガ	高周波対応	高周波材料基板	試作	
走行安全系	高速伝送	インピーダンス制御基板	試作	
情報・通信系	0.4/0.5ピッチCSP	多段ビルドアップ基板	評価	
	通信モジュール	高密度モジュール基板	評価	
ボディ系	高放熱対応	メタルベース高放熱基板	評価	
ボテイ糸	局所放熱対応	銅インレイ放熱基板	試作	
パワートレイン系	パワーIC高効率化	パワーデバイス内蔵基板	開発	

## お取引先様に向けて サプライチェーン

#### 2018年の主な活動実績

- 購買危機管理基準を制定し、調達リスクを最小化するべく購買監査を実施
- 2018年5月にサプライヤーズミーティング を開催しコミュニケーションを深化
- REACH規則等最新版に対応しての環境対 応調査実施<SVHC197物質>

#### 今後の計画

- 購買危機管理基準をもとにした購買監査の 継続的な実施
- 産地不明メーカーについての継続調査の実 施
- サプライチェーンによるGHG排出量の削減 を推進

メイコーでは、お取引先各社様にメイコーのCSR方針、環境方針などをご理解いただくための 指針として「調達基本方針」を制定し、環境保護・対応に関する取り組みを強化するなど企業間の 協力体制のもとCSRの推進に取り組んでいます。

#### 調達基本方針について

メイコーでは、下記「調達基本方針」「購買取引行動指針」に基づく調達活動の継続を推進しています。

基本的概念として、お取引先様から部材調達に始まり生産活動・物流・販売に至るまでの一貫したサプライチェーンが求められている中、メイコーではお取引先様との相互信頼関係を築き、ともに繁栄できる関係(WIN-WIN)の確立が調達活動での最重要ポイントと考えています。国内の生産・販売拠点はもとより、海外拠点とのリレーションを含め、①調達基本方針のご理解②法令・社会規範の遵守③環境保護④反社会的勢力の排除⑤RBA(旧EICC)行動規範をもとにした、品質、納期、価格、経営のほか事故、災害時の事業継続性など総合的に判断し購入先の選定をおこない、サプライチェーンによるCSRの実践を強く推進します。

#### ●調達基本方針

- 1. 購買取引行動指針に基づいたグローバル生産体制に対応した最適な調達活動
- 2. お取引先様とのコミュニケーション・連携を 強化した円滑・公正・適正な調達活動
- 3. 環境対応 (化学物質に対する対応/グリーン調達) の強化
- 4. RBAに基づく紛争鉱物の排除、若年労働者雇 用の調査を推進

#### お取引様・協力会社様へのお願い

メイコーでは、調達基本方針である「環境対応」 の側面より800社以上のお取引先様・協力会社様 と地球環境に配慮した下記取り組み事項に関して のご理解・ご協力のお願いとお約束を推進してい ます。社内生産活動における「温室効果ガス排出抑 制1、「廃棄物削減1および、「特定化学物質の管理1 はもちろんですが環境に配慮した調達活動実現の ため、お取引先様・協力会社様へもグリーン調達の 推進や提案をいただくとともに、物流や営業活動 に関しても地球環境に配慮した活動をお願いして います。2018年の具体的な活動実績としては、購 買危機管理基準を制定し調達リスクを最小化する 取り組みに向けた購買監査や、BRA標準フォー マットによる紛争鉱物調査、若年労働者雇用の調 香REACH規則等最新版に対応した環境対応調査 などを実施しています。

- 1. グリーン調達の推進・グリーン調達基準の遵守・「エコ商品」の情報提供
- 2. アイドリングストップの協力
- 3. 廃棄物の減量
- 4. 緊急事態の連絡に関しての協力

## お取引様の声

台光電子材料股分有限公司 Johnny Wang **王中銘** Sales & Marketing Dept. Chief

長年のお取引に感謝しております。当社はメイコー様の日本、中国、ベトナムでの事業用にハロゲンフリーCCLとプリプレグを供給しております。メイコー様のCSR方針に沿って、当社はサステナビリティ管理ならびに我々の業務が環境に及ぼす影響を最小限に抑えることに全力を尽くしています。環境に関する当社の取組の例をご紹介します。

- ・ESH (環境、安全、衛生) 理念と管理システムの 導入、さらにOHSAS18001とISO14001を職 場で実施。
- ・当社の製品設計をRoHSやHSF (有害物質を使用しない) などの国際的な環境基準を満たすよう改善。これはお客様ならびに当社自身が求める基準。
- ・環境に関する法令を厳密に遵守。例としては廃棄物処理法、水質汚染管理対策と検査報告管理規制、大気汚染法、その他。
- ・1990年の創業以来、当EMCはハロゲンフリー物質の開発に注力し、2013年には世界トップのハロゲンフリーラミネート販売者となる。ハロゲンフリー物質はモバイル機器へ導入され、同様の傾向がサーバー、ネットワーク、自動車業界に見られる。メイコー様のビジネスパートナーであることは光栄であり、今後も共に環境問題を考え、貢献していきたいと思います。

#### 購買・調達活動への取り組み

#### 内部統制とコンプライアンス

メイコーでは、購買・調達活動に対し以下の項目を遵守し、お取引先様との円滑な業務を継続しています。日本における「下請代金支払遅延等防止法」、グローバル調達においては、関税法、各国・地域における法令、社会規範の遵守、社内教育やコンプライアンスの確認を実施し、お取引先様との適正かつ永続的な取引を強化し推進しています。

- 1. 購買・調達活動に関わる法令を遵守し、お取引先様との公正かつ公平な業務を遂行する。
- 2. 購買・調達活動を通じて知り得たお取引先様 の情報を守秘し、機密情報・個人情報などの流 出を防止する情報セキュリティ体制を強化する。
- 3. お取引先様からの「接待・贈答」は社会通念の範囲内とし、個人的利益にあたる授受を禁止する。
- 4. 反社会的勢力・紛争鉱物調達・若年者労働の 排除を遂行する。

#### 環境対応(グリーン調達)

メイコーでは「環境に対する基準」に基づき、お取引先様との環境対応に配慮した購買・調達活動を推進しています。

- 1. 法規制 (RoHS指令・ELV指令・REACH規則) や環境負荷物質の含有を確認し、適合品の調 達を推進することで製品環境品質の維持・向 上に努めています。
  - ① RoHS指令 :EUによる電子・電気機器

における特定有害物質の使

用制限

② ELV指令 :EUで施行された、廃棄自

動車の環境に与える負荷を

低減するための指令

③ REACH規則:EUにおける人の健康や環

境の保護のための法律

④ JIG(1-R) :電気電子機器製品に関す

る含有化学物質情報の開 示に関するガイドラインの

法規制物質

⑤顧客基準

- 2. 「環境保護に関する覚書」「環境負荷化学物質に関する不使用保証書」の締結を推進し、お取引先様との環境保護対応を推進しています。締結に関しては、外注加工メーカー様を含め主要お取引先様と進めています。
- 3. 産業廃棄物の排出削減に努め、資源の再利用など有価物としての取り組み対応をお取引 先様と推進しています。

#### RBAに基づく調達方針

RBA(Responsible Business Alliance/旧EICC電子業界行動規範)は、電子機器業界のサプライチェーンにおいて、労働環境が安全であること、そして労働者が敬意と尊厳を持つて扱われること、さらに製造プロセスが環境負荷に対して責任を持っていることを確実にするための基準を規定したものです。メイコーとサプライヤーの両者がWinWinの関係を保ちつつ、社会的責任を果たしながら事業を継続してまいります。

## 従業員に向けて 働きやすい職場づくり

#### 2018年の主な活動実績

- 女性が働きやすい体制の推進
- あるべき姿の次世代リーダーの育成、海外駐 在員マネジメント研修、海外派遣の開始継続 推進

#### 今後の計画

■ 次世代マネジメント層の育成 製造技術の集中的教育、自己啓発制度強化

メイコーでは「企業の最大の財産は人」との考え方のもと、すべての社員にとって安全・安心・清潔で、多様性を尊重する、そして社員が成長できる「働きがいのある職場づくり」を推進します。

#### 多様性の尊重

メイコーでは、人権を尊重し、人種・信条・宗教・ 国籍・年齢・性別・障がいなどで差別することなく、 多様な人材が能力を発揮できるよう、公正な採用 と評価ならびに処遇することに努めています。女性 従業員に対しては産休・育休からの復帰にあわせ た短時間勤務制度の推進なども積極的におこなっ ており、2018年度中の育児休業取得者は10名、 職場復帰者は7名、短時間勤務制度利用者は14名 となりました(グループ会社を除く)。

# 育体、時短制度

品質保証本部 品質保証部 品質保証二課





2012年7月に長男を出産し、翌年4月に保育園へ入園するまで育児休暇を取得しました。

復帰直後は短時間勤務制度の9時から16時までの勤務をしておりました。当初は海老名市杉久保の研究開発センター勤務だったので遅い出勤時間で助かりました。

現在は短時間勤務制度の勤務時間が選択出来るようになり、子供が就学した事で登校時間に合わせて9時15分から16時15分に変更させて頂きました。

責任ある業務を任せて頂いておりますが、子供の 体調不良等で急に迎えに行かなければいけない時や お休みを頂く時も制度や周囲の方の理解によって助 けて頂いております。

育児休暇や短時間勤務制度を利用する方がそれぞれの生活に合わせて活用しやすい環境づくりに少しでも貢献出来たらと思います。

#### 障がい者雇用

メイコー(グループ会社を除く)では障がい者雇用促進法に基づく法定雇用障がい者数を1991年度に満たして以来、2010年、2011年を除き継続的に達成してきましたが、2017年度より雇用者数の増加および障がい者の退職が重なり未達となりました。2019年度には法定雇用障がい者数を満たせるよう努めてまいります。

● 障がい者雇用数と法定雇用障がい者数の推移(2014~2018年度)



(注)法定雇用障がい者数=常用雇用労働者数×法定雇用率(1人未満は切り捨て)

#### グローバル人材の採用と人材交流

メイコーの国内事業所では中国とベトナムを中心とする海外出身者が42名勤務しており、海外で活躍する日本人スタッフは76名おります。また、2003年度より実施している海外現地法人幹部候補生の日本での語学・技能研修も294名(2019年8月末現在)となっており、国内外に関わらず人事異動・人材交流により、グローバル人材の育成、さらなる人材活性化を推進しています。

#### 女性活躍推進

メイコーの過去5年間の女性社員の雇用比率は17%~19%で推移しており、2018年度末時点の女性比率は約18%でした。

一方で、管理監督者の役割を担う女性は年々増加傾向にあり、この5年間で57%増加しました。また、管理職および男性従業員の意識改革や、職場全体での働き方改革といった組織風土の変革にも取り組んでいます。



- ・2018年度末時点の女性比率は約18%
- ・主任相当以上の管理監督者は年々増加傾向



#### 「女性が活き活き働くための研修」を開催

メイコーで初めての試みとして女性社員を対象とした「女性が活き活き働くための研修」を実施しました。

これから労働人口がますます減少していくなか、女性の活躍は必須であり、当社でも女性社員の活躍の場を拡げることの必要性・重要性が説かれています。受講者が自分らしい生き方や働き方について考える機会となるよう、多くの要素を盛り込んだ研修としました。

内容としては、グループワークでこれからどんな世の中で働くことになるのか、女性特有の体の変化とその受け入れ方や対策について、講師の実体験も交えながら学びました。また、男女で異なるコミュニケーション方法を学んだり、キャリア形成を考える等、実際に職場で実践・活用できる内容もあり、実りある研修となりました。



## グローバル社員の声

大阪営業所 営業一課 佐村 村



私は日本の大学を卒業して、2008年4月新卒採用でメイコーに入社いたしました。 入社後大阪営業所に配属され、営業1課で アシスタントの業務をさせていただいております。 日々、営業が受注してきた案件を手配⇒納期管理⇒出荷⇒納品までの管理をしています。 特に母国語を活かし中国工場との納期調整及び中国、台湾、香港のお客様の窓口を担当しております。 大好きな日本と母国との関わりを持ちながら充実した日々を過ごしております。 営業生産性向上への取り組みとして我々営業アシスタントは「インサイドセールス」となります。

「営業所全体の作業効率UP」を念頭に置き、今後も仕事に励んでまいります。

#### 各種教育制度の導入

メイコーでは、社員一人ひとりの持つ潜在能力を引き出すとともに、経営理念の実現を担う人材を中長期的に確保するために、新入社員から中堅社員、幹部社員に至るまでの階層別研修や、職能や職種に応じた分野別研修をおこなっています。特に次世代のリーダー教育は最重要課題と位置づけ、現在のリーダーから次世代へ伝承すべき共通の独自価値を抽出し、育成プログラムへ反映させるユニークな研究を推進しています。

また、社員の自発的な能力開発の支援として、技能検定資格を促す資格認定制度や通信教育の費用補助のほか、外部講師による基板スクールの実施やTOEIC受験費用の全面的補助などをおこなっています。

さらに、ますます重要性が高まる海外現地法人の最前線でグローバルに活躍できる社員を育成するために、国内社員の語学研修や海外社員の日本における研修制度の充実のほか、今後はマネジメント力の向上および海外派遣(トレーニー制度)などを展開します。

#### 安全衛生に関する取り組み

メイコーでは、安全衛生方針に基づき、すべての職場における不安全状態の撲滅と作業環境の向上、そして全従業員の健康増進をすることを目標に安全衛生活動を推進しています。労働災害の防止はもちろんのこと、より効果的に問題を発見するために、産業医や労働衛生コンサルタントなど有識者による職場巡視や、工場間での安全衛生委員による相互パトロールなども実施しています。さらには、リスクアセスメントによるリスクの見積もりとそれに基づく労働災害の予防措置をおこない、安全衛生管理の向上に努めています。

#### ●階層別研修

#### 新入社員

- ビジネスシミュレーション研修
- ・ 製造・営業実習と問題解決の実践

#### 中堅社員

- · MBA (Meiko Board Academy)
- ・次世代マネジメント層の育成

#### 管理職

- MAPS (Management Academy for Problem Solving)
- · 問題解決力向上

#### 部門長

- ・社長塾
- ・さらなる成果創出のためにメイコーDNAの実践者となる 人材を育成

#### ●分野別研修

#### 技術者教育

- ・メイコー基板スクール (ベーシック編・アドバンス編)
- ・新入社員・中途入社社員・中核技術者の技術力を向上

#### グローバル教育

- ・TOEIC社内受験の定期化とインセンティブ制度
- · 英語選抜研修
- ・中国語・ベトナム語研修

#### ●自己啓発

#### 诵信教育講座

・語学系講座を修了した場合は受講料の80%を補助

#### 労働安全衛生方針

メイコーグループでは、「企業の最大の財産は人」との考えのもと、すべての従業員が心身ともに安全で安心して働き、個々人の能力を十分に発揮できる職場づくりを目指します。

- 1. 労働安全衛生の関連法規制および社内規程を 遵守し、すべての職場における不安全状態の 撲滅を図ります。
- 2. 職場におけるリスクアセスメントを実施し、目標を定め労働環境の改善および労働災害リスクの低減に継続的に取り組みます。
- 3. 従業員一人ひとりに労働安全衛生活動を周知させ、安全衛生意識の向上を図ります。
- 4. 従業員の心と体の健康の保持・増進に対し積極的な支援を図ります。

#### TOPIC ライフイベントマップ

メイコーでは、従業員の多様な価値観やライフイベントに合わせて柔軟に働く事ができる 環境づくりを進めています。

〈1歳まで〉 結婚休暇 産前·産後休暇 〈93日まで〉 定年再雇用制度 働き方・休暇・休業制度 配偶者出産の特別休暇 育児時間 時間外労働の制限 健康検査の特別休暇 〈1歳(状況により2歳)まで〉 深夜業の制限 所定外労働の免除 (妊娠中or出産後1年未 育児休業 介護休業 (93日まで) 満) 〈小学校3年生まで〉 介護休暇(年5日/1 時間外労働の制限 人) 深夜業の制限 育児短時間勤務制度 子供の看護休暇 (年5日/1人)

## 株主様・投資家様に向けて IR活動の充実

#### 2018年の主な活動実績

- 機関投資家様向け決算説明会、アナリスト ミーティング、スモールミーティング、投資家 様訪問を実施
- 海外の投資家様に向けた各種IRツールの英語化

#### 今後の計画

- ■各種説明会を継続実施
- さらなるグローバル化、投資家様に有用な 情報の発信

メイコーは、企業行動規範において、「企業価値の創造に向け、健全かつ透明性のある企業活動・企業経営に努め、株主や投資家の皆様に信頼される企業であり続けることを目指します」と定めています。この規範に基づき、各種法令を遵守しながら健全で公正な企業活動を積極的におこなうことで企業価値を最大にすべく努めています。

#### 適時・適切な情報の開示

株主・投資家の皆様の投資判断に影響を与えると思われる重要な情報は、適時開示規則に基づき適切に開示するとともに、それ以外の重要な情報も迅速・適切かつ公平に開示をおこない、経営の透明性を向上させています。

#### 海外の投資家様に向けて

海外の投資家様に当社の事業活動に理解を深めていただけるよう、株主総会招集ご通知およびプレゼン資料、株主通信、決算説明会資料の英語化をおこなってIRのグローバル化を進めています。

#### 株主通信

メイコーへの理解をより深めていただくために、 株主の皆様への情報提供として年2回「株主通信 (MEIKO REPORT)」をお届けしています。



MEIKO REPORT

## 地域社会に向けて 社会貢献

#### 2018年の主な活動実績

- 各サイトにおいて、地域課題に沿った社会貢献活動を実施
- 各サイトの取り組みを他サイトで展開するための情報共有の強化

#### 今後の計画

■ 多くの従業員が自発的に参加できる枠組み の構築

メイコーでは、地域社会との密接な関係を築くために、本社をはじめとするグループ各社での 社会貢献活動を積極的に推進しています。今後も、各自治体の主催する環境美化活動や各種イベントに積極的に参画するとともに、良き企業市民として各地域社会に密着した社会貢献活動を推 進することで、社会の一員としての責任を継続的に果たしてまいります。

#### 中国 武漢工場

● 肖泗郷老人ホームへエアコンを寄贈

#### ベトナム タンロン工場

● 地域清掃活動

#### ベトナム工場

- フンサー村の戦争傷病者へ プレゼントを寄付
- PhungXa社の子供へ 中秋ケーキを寄付
- お正月に社会後援センター: エージェントオレンジの犠牲者へ ケーキを寄付
- お正月にフンサー村の貧しい世帯へケーキを寄付
- お正月にフンサー村人民委員会のお正月活動に貢献
- お正月にブン村レスリング試合へのノートパソコン寄贈

#### 中国 広州工場

- 「建軍の日」に公安警察、消防局へのあいさつ
- 「中秋節」に公安警察、消防局などへのあいさつ
- 地域敬老活動への参加
- 地域献血活動への参加



#### 石巻工場

● 地域清掃活動

#### 山形工場

- 谷地どんが祭り協替
- ▶ かほくほくほく祭り協賛
- 地元高等学校の工場見学・ インターンシップ受け入れ
- 献血活動への参加(2月 14名)
- ▶ 近隣小学校へ写真ニュース掲示板を寄贈

#### 福島工場

- 献血活動の実施
- インターンシップの受け入れ
- ■【令和記念広野町 サマーフェスティバル2019】協賛

#### 本社および神奈川工場

- あやせ環境ネットワーク協賛
- あやせ商工フェア協賛
- 綾瀬市福祉協議会 「綾瀬ふれあいの家」協賛
- 綾瀬市花火大会協賛
- 綾瀬市少年野球連盟春季大会& メイコーカップ開催
- 第17回神奈川県障害者技能競技 大会アビリンピック2019協賛
- 「交通事故防止」キャンペーン 近隣の小中学校へ寄贈

## Action

#### ベトナムの子供農業体験開催

メイコーでは、2018年からベトナムのハノイで農業事業GENKI FARMを展開しています。

日本の有機農法と技術を駆使して有機野菜を栽培し、市内店舗へ販売しております。

野菜の収穫時期には、地元のベトナム小学生や日本人学校の生徒を対象に、農業体験教室を開催しています。





#### ベトナム地域住民への支援

2 ベトナム タクタット工場では地域住民の支援として、経済的に恵まれない家庭や戦争傷病者へプレゼントを届ける活動や、地元レスリング試合へのノートパソコン寄贈を行っています。





# Action 3

#### 清掃·美化活動

ベトナムタンロン工場では、毎年周辺エリアを中心とする清掃活動を行っています。





## 環境報告

ENVIRONMENT REPORT

メイコーでは、事業活動にともなう環境負荷を 可能な限り低減することが、 持続可能な社会に対し貢献することであり、 企業としての使命・責任であると認識し、活動しています。

#### 2018年度の主な活動実績

- CO₂排出量は前年度実績より少し増加。
- 社有車のエコカーの導入。
- 再資源化率99%以上を維持。(国内のみ)
- 廃棄物交換システムなどを活用し、不用品の 再利用化。
- SVHC追加物質の把握と仕入先への調査を 実施。

#### 今後の計画

- エネルギー原単位を1%以上改善。
- 蛍光灯のLEDランプへの交換推進。
- 再資源化率100%を目指す。
- RoHS指令の追加使用制限物質の把握と仕入れ先への調査を実施。

## 環境基本方針

当社は「かけがえのない地球」を「きれいな水と大気と緑の環境」の状態で後世に残すことを最大の責務と考え、事業活動と地球環境の調和を図り、「環境に優しい事業活動」を推進する。

地球温暖化 の防止

資源の 循環利用 生態系の 汚染防止

#### ●メイコー環境行動指針

当社は、電子回路基板、メタルマスク及び電子機器の設計、開発及び製造の事業活動を行っており、その事業活動に対して地球温暖化の防止、資源の循環利用、生態系の汚染防止など、環境負荷を軽減して環境保全、環境保護することが最重要課題であると考える。

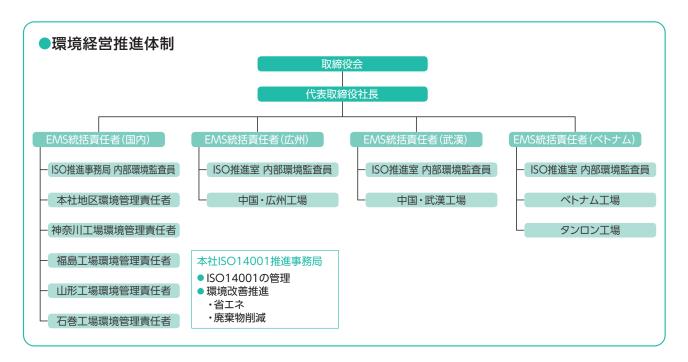
私たちは、環境基本方針に則り、事業活動が環境に与える影響を充分に 把握し、汚染の未然防止と環境負荷の低減に努め、次のとおり行動する。

- 1. 環境保全活動推進のための組織を整備し、環境マネジメントシステムの構築、見直しを行い、環境影響に対し適切な運営を行い、継続的に改善する。
- 2. 省資源、省エネ、廃棄物の削減、及びリサイクルの推進を図り、環境保全に貢献する。
- 3. 製品含有化学物質を適正に管理し、製品に有害化学物質が含まれないようにする。
- 4. 生産工程における化学物質の適正な管理を実施し、使用量の削減と環境負荷の低減に努める。
- 5. 環境汚染物質を的確に把握し、汚染予防を推進する。
- 6. 環境関連の法律、規則、条令及びその他の要求事項を遵守する。
- 7. 環境目的、目標を定め環境保全、環境保護活動の実施と見直しをする。
- 8. 全従業員が高い意識を持って環境保全、環境保護に取り組めるよう、教育、 指導を行う。
- 9. この環境方針は文書化し、全従業員に周知すると共に、一般にも公開する。

2017年10月19日 代表取締役社長 名屋 佑一郎

## 環境経営推進体制

「環境基本方針」を実現すべくISO環境マネジメントシステムを構築し、国内外の各工場に環境を統括するEMS(環境マネジメントシステム)責任者を配置しています。また全社横断の省エネ委員会を開催しCO₂削減、ゼロエミッション活動等により環境保全に努めております。



#### ISO14001認証取得

環境経営に資するためにISO14001を重要な規格 と位置づけ、2000年度より取り組みを開始し、国内・ 海外工場で継続的な取り組みを実施しています。

#### ●ISO14001の認証取得状況

2001. 03.27	本社および神奈川工場
09.25	山形工場
2003. 04.17	福島工場拡大取得
04.30	中国·広州工場取得
2005. 04.22	国内3工場統合
04.22	MDS拡大取得
2006. 04.28	メタルマスク部拡大取得
2007. 02.20	中国·武漢工場取得
2009. 03.26	研究開発センター拡大取得
03.26	大和テクノロジーセンター拡大取得
2010. 06.18	ベトナム・タクタット工場取得
2014. 01.15	石巻工場再取得
2015. 04.24	ベトナム・タンロン工場取得

※国内はJET(電気安全環境研究所)、中国はTUV(テュフラインランド)、ベトナムはBVC(ビューローベリタス)より認証取得しています。

2017. 01.27 全工場 ISO14001·2015年度版移行完了



国内ISO14001認証証



中国広州工場ISO14001認証証



MENO ELECTRONICS THANG LONG CO., LTD

4. J. Thread Great Acceptance of the Control of Company
from the Control of Control of Control of Company
from the Control of C

中国武漢工場ISO14001認証証 ベトナムタンロン工場ISO14001認証証

#### 環境関連法令遵守

環境意識の高まりとともに、環境関係の法令および各地域での条例も改正されておりますが、それらの改正などに確実に対応し遵守していくことが地域社会の環境保全に対するメイコーとしての貢献につながると考えています。メイコーではISO14001に基づき、メイコー事業活動に関連する法令および各拠点地域の条例を特定し、かつ改廃を監視することにより、法令・条例を確実に遵守する活動を展開しています。

#### 環境目標計画の推進

メイコーでは企業活動による環境影響評価を実施し、著しい環境側面としてエネルギーは電気・重油・ガス・ガソリン、資源は使用原材料・水・紙、廃棄物は廃プラスチック・汚泥・廃酸・廃アルカリなどを抽出しています。2018年度はベンチマークおよび目標を再設定し、活動を推進してきました。引き続き、生産効率の改善、さらなる省エネへの取り組みを実施し、原単位での着実な削減を目指します。

## 現場の声

EMS統括責任者 取締役常務執行役員 松田 孝広



近年、地球温暖化が原因とされる異常気象による自然災害が深刻化し、甚大な被害をもたらしています。

また廃棄物汚染による環境破壊もクローズアップされています。 その様な背景の中、当社においては、環境方針に基づき、省資源、 省エネ、廃棄物の削減及びリサイクルの推進、製品の有害化学物 質の適正管理、生産工程における化学物質の適正な管理による使

用量削減等、環境負荷の低減に努めております。

今年度は、主な取り組みとして、ベトナム第3工場をはじめとするスマートファクトリー化を進めてきております。 IoTやロボット技術を駆使し、社内基幹システムと連携させる事により、生産性向上、品質向上、環境設備及びユーティリティー設備の最適化を行い廃棄物削減、省資源、省エネを図ってまいります。

順次、海外工場から全工場への展開を行ってまいります。

国内工場においても投資を行い、老朽化した設備の更新を行っております。

福島工場では重油ボイラーを廃止し蒸気未使用生産設備の導入、神奈川工場では重油ボイラーからガスボイラーへの切換えを行い、CO2削減を図っております。

今後も引き続き、事業活動と地球環境の調和を図り、環境に優しい事業活動を推進してまいります。

## 地球温暖化の防止

メイコーでは、かけがえのない地球に対する極めて大きな脅威として、温室効果ガス問題を認識しています。この取り組みは、エネルギー起源の二酸化炭素排出量を削減するための省エネ活動になります。

国内では法令の規定もあり、排出量削減の年度計画・中長期計画を策定、推進していますが、海外工場においても同様な取り組みを展開して、グローバルな地球温暖化防止活動を推進しています。

2018年度は、工場部門と事務部門の省エネ改善活動を実施しました。個別の効果が得られたものもありますが、全体としては生産量変動の影響で目標とする原単位の低減はできませんでした。今後は、それを挽回すべく目標達成のための取り組みを実施してまいります。



省エネ委員会

(2013年度を1.0で換算)

○原単位

1.5

1.0

0.5

Ω

#### ●CO2排出量推移



## ●燃料油使用量推移 ●天然ガス使用量





2016年度

2017年度

2018年度

#### ●ガソリン使用量推移



※2012年度よりベトナム工場、2013年度より石巻工場、 2016年度よりタンロン工場の実績を追加しています。

●電力使用量推移

■使用量合計(百万KWh)

2014年度

2015年度

500

375

250

125

※最近は、生産量増加に伴い、エネルギー使用量も増加しているが、 原単位はほぼ横ばいで推移しています。

#### 省エネ改善活動事例

#### 福島工場改善事例

福島工場では、熱源として使用されていた蒸気ボイラー (A重油) を黒化処理ライン (積層プレスでの前処理作業) で使用されていました。

新ラインとしてVボンドラインでの運用に移行され、重油から電気での運用へと変わりましたが、CO<sub>2</sub>の削減として効果を発揮しております。

電気使用量は昨年度実績と比較して150,350Kw (6ケ月間) 増えましたが、CO2の排出量は、71 (ton)となり重油よりも電気の方がCO2排出量を抑えることが出来ており、天然資源の枯渇問題についても抑えることが出来ます。



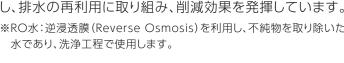
- •年間で約70.9002の重油を使用しておりましたが、重油の使用量は02となりました。
- •重油での使用により年間で約 $CO_2$ 削減量は、200(ton)の $CO_2$ 削減となりました。

## 資源の循環利用

#### 水の使用状況

電子回路基板の製造には、基板洗浄の工程で大量の水 を使用します。メイコーはこれまで設備毎の水使用管理、 RO水\*の利用などで削減に取り組んできました。

引き続き、各工程で品質に影響を及ぼさない必要最低 限の水の使用、またRO濃縮水の再利用システムを導入 し、排水の再利用に取り組み、削減効果を発揮しています。 ※RO水:逆浸透膜(Reverse Osmosis)を利用し、不純物を取り除いた 水であり、洗浄工程で使用します。





森林資源の保全に貢献できるよう、全社を挙げて資料 の電子化、不要コピーの廃止、電子承認システムの導入等 で用紙の削減に取り組んでいます。

※2018年度より、ベトナム工場、タンロン工場の実績を追加しています。

#### 廃棄物の削減と再資源化

廃棄物削減については3R(リユース、リデュース、リサイ クル)を念頭に置き活動しています。2017年度に引き続 き、廃棄物の有価物化など廃棄物の再資源化に積極的に 取り組んでいます。なお、排出された廃棄物が埋立処分以 外の用途に使用される再資源化率は、2018年度国内工 場の実績で99%以上となっています。

※再資源化には熱回収も含まれています。

※中国工場(広州、武漢)、ベトナム工場(ベトナム、タンロン)は算定から 除外しています。





#### 廃棄物削減活動取り組み事例

#### 自社内での資源回収

工場で発生する産業廃棄物の中には、自社内にプラントや設備 を設置して資源を回収しているものがあります。

- 1. 金めっき廃液から、金を回収
- 2. ソフトエッチング廃液から、銅を回収
- 3. エッチング廃液から、銅を炭酸銅・硫酸銅に生成して回収

資源を循環利用することにより、天然資源の枯渇防止となり、地 球環境保護に貢献しています。



写真:広州工場のソフトエッチング 廃液処理装置

## 生態系の汚染防止

#### 環境負荷低減対応

メイコーでは、工場における事業活動の地域環境へ与える大きさを認識し、その負荷を軽減することがわれれの責務であると考えています。具体的には公害防止法令および地域との協定基準を遵守し、「PRTR法」で把握された排出総量を削減すべく活動を行っています。

#### 排出負荷削減活動

地域環境の維持に貢献するため、定期的に排水水質、大気放出ガスの状態などの測定を実施し、管理しています。メイコー各工場の主な排出物質実績は下記の通りです。

すべて基準値以下を維持しております。

事業所名	水質				大気				
		рН	BOD	COD	SS	対象設備	対象物質	ばいじん濃度	窒素酸化物濃度 (NOX)
神奈川工場	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L	蒸気ボイラー	測定単位	g/mN	v/vppm
	実績	7.22	10.1	16.3	-		実績	0.002	54
	基準値	5.7~8.6	25	25	70		基準値	0.3 (大気汚染防止法)	180 (大気汚染防止法)
	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L		測定単位	g/m³N	v/vppm
福島工場	実績	7.3	10.7	7.8	1.1	蒸気ボイラー	実績	0.005	57
	基準値	5.8~8.6	25	25	70		基準値	0.3 (大気汚染防止法)	180 (大気汚染防止法)
	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L		測定単位	g/mN	v/vppm
山形工場	実績	7.4	8.2	15.1	15.7	蒸気ボイラー	実績	0.005	66
	基準値	5.8~8.6	25	160	60		基準値	0.3 (大気汚染防止法)	180 (大気汚染防止法)
石巻工場	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L	蒸気ボイラー	測定単位	g/m³N	v/vppm
	実績	7.3	16.1	16.8	4.3		実績	0.023	49
	基準値	5.8~8.6	25(20)	160(120)	60(50)		基準値	0.3 (大気汚染防止法)	180 (大気汚染防止法)
	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L	ボイラー	測定単位	mg/m³N	mg/mN
広州工場	実績	7.65	5.9	71.0	19.5		実績	16.43	135.28
	基準値(省)	6~9	300	500	400		基準値	国:100 地方:80	400
	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L	蒸気ボイラー	測定単位	mg/m³N	mg/mN
武漢工場	実績	7.78	6.6	24.8	17.2		実績	19.5	14
	基準値(国)	6~9	20	80	50		基準値	50	400
	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L	ボイラー	測定単位	mg/m³N	mg/m³N
ベトナム工場	実績	7.58	8.8	15.9	5.5		実績	41.9	62.40
	基準値	6~9	30	75	50		基準値	200	850
	測定単位	-	mg/L	mg/L	mg/L		測定単位	mg/m³N	mg/m³N
タンロン工場	実績	7.23	9.4	28.3	6.3	ボイラー	実績	40.82	63.64
	基準値	6~9	30	48.6	50		基準値	200	850

<sup>※</sup>水質測定項目は、水質汚濁防止法生活環境項目の一部開示となっています。

<sup>※</sup>水質測定値は平均値となっています。

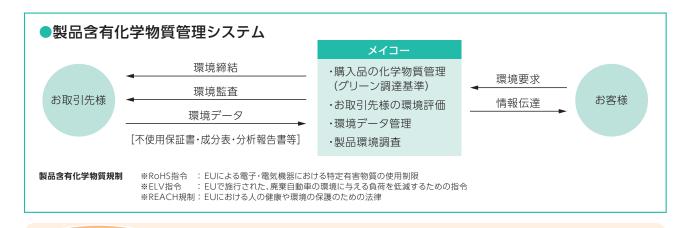
#### 環境負荷表

メイコーとして環境負荷の全体像を把握する取り組みをおこなっています。2018年度実績を下表に示します。今後はインプットのエネルギー、水、材料、化学薬品、アウトプットの大気放出、排水、廃棄物・有価物、リサイクルに区分した取り組みをより正確に把握してまいります。



## 製品含有化学物質管理

メイコーでは、「環境行動指針」に基づき、RoHS指令など法規制で禁止されている有害物質が製品に含まれないよう、化学物質管理規定で禁止物質を定め、厳しく管理しています。お取引先様より不使用保証書および分析報告書などの環境データをいただき、お客様からの調査要望に対して適切に伝達できるよう努めています。



現場の声

広州工場 環境管理課 **多賀 诱** 



広州工場は中国環境政策、広東政策により環境改善(大気、廃棄、排水等)を実施しています。大気汚染防止としてVOC(有機揮発性化合物)装置導入により法令基準を遵守しています。

廃棄物については含有銅汚泥を乾燥装置により前期排出量の半減を実現し、ドライフィルムカスは脱水装置により前期排出量の半減を実現しています。又当工場は『広州クリーン生産重点企業』に指定され資源、水、電気、

エネルギー等の削減活動を実施し、その結果『クリーン生産2級』を取得し優秀企業として登録されています。 今後も広州工場は環境法令を遵守し、更なる改善活動を推進して行きます。

## **■ IDPIC** メイコーソーラーパーク福島 第2発電所の稼働

福島県広野町にある福島工場では、東日本大震災により敷地内に残っていた遊休地を利用し、2015年6月より「メイコーソーラーパーク福島」で太陽光発電を開始しました。この発電所の稼働により、福島県と広野町が進めている再生可能エネルギーの普及活動と、持続可能な社会の実現に貢献しています。

2017年から第2発電所が増設され、発電能力は3MW(メガワット)で、年間の発電量は320万kWhとなります。一般家庭の使用量に換算して約880世帯分に相当します。

これは、広野町の総世帯数の3分の1以上をカバーする電力源となり、地元福島の復興・発展のみならず、持続可能な社会への実現に貢献しています。今後は発電した電力を自社施設内での利用へ推進してまいります。

#### ●メイコーソーラーパーク福島 概要

設置面積	41,454㎡
パネル数	11,788枚
発電容量	3,026KW
想定年間発電量	3,200MWh (一般家庭約880世帯分の消費電力)
発電開始日	2015年6月10

#### ●太陽光による発電量





メイコーソーラーパーク福島

## マネジメント報告

MANAGEMENT REPORT

業務の適正かつ効率的な遂行を確保するため、 監査および内部統制が適切に機能する体制を整え 経営の透明性を高めるとともに、ステークホルダーから 信頼されるマネジメント体制を整えています。

## コーポレートガバナンス

#### コーポレートガバナンス体制

当社は監査役会設置会社であり、取締役会、監査 役会、会計監査人の各機関を置いています。取締役と 監査役は、当社と特別な利害関係がなく独立性の高 い社外取締役および社外監査役を招聘することにより、経営に対する監査・監督機能を強化しています。 取締役会は8名の取締役で構成され、そのうち2名は社外取締役です。また、監査役3名のうち2名が社外監査役です。

#### 当社におけるコーポレートガバナンス体制 選仟/解仟 選任/解任 <監査機能> 監査 報告 内部監査室 報告 報告 指示 ★監査 業務執行役員・部門長 内部監査 内部統制監査 スク・コンプライアンス事務局 内部通報窓口 各業務執行部門・関係会社 従業員等 通報 内部監查 内部統制監查

#### 取締役就任メッセージ



社外取締役 土屋 奈生

2018年6月の株主総会で選任いただき、社外取締役として職務遂行させていただいております。近年はコーポレートガバナンスの重要性、更にその中で独立社外取締役の役割の重要性も言われております。株主の皆様をはじめとする当社のステークホルダーの皆様の利益となるよう、当社の企業価値を高めるために、独立社外の立場からできることは何かを考え、客観的な目線での意見、提案を心がけてまいりました。

目まぐるしく変わる国際情勢など、しばらくは必ずしも順調とは言えない環境に置かれることもあるかと思いますが、その中でも生産性改善など必要な施策が軸をしっかり持って実施され、更によい会社として飛躍できるよう、微力ながら努めてまいります。 引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 内部統制

#### 2018年の主な活動実績

- 金融商品取引法 (J-SOX) に基づく、内部統制の仕組みの更新と評価 (統制対象拠点として、中国子会社、ベトナム子会社、アメリカ子会社を含む)
- ■内部監査部門による監査の実施

#### 今後の計画

- 金融商品取引法に基づく内部統制の評価
- ■内部監査の実施
- ■監査役との連携強化

メイコーにおける企業統治の体制は、経営を公正におこない、またその内容を極力透明にするため、社外取締役のほか、経営監視機能である監査役、会計監査人および内部監査部門を設け、各々連携をとりながら、コーポレート・ガバナンスの構築に取り組んでいます。内部統制は企業統治の中で、経営効率向上および企業活動の正当性確保のために不可欠な要素であり、その有効性を評価し次の経営改善に繋げることは社会的責任を全うすべき企業の使命であるとの認識のもと、メイコーグループとしてこの活動を推進しています。

#### 内部統制システム

会社法および会社法施行規則に基づき、業務の 適正を確保するための体制(内部統制システムに 関する基本方針)について、取締役会にて以下の 事項を決議し、整備しています。

#### ● 2019年度「内部統制システム構築の基本方針」

- 1. メイコーグループのコンプライアンスを確保する ための体制
- 2. 取締役の職務執行に係る情報の保存及び管理に 関する体制
- 3. メイコーグループのリスク管理に関する体制
- 4. メイコーグループの取締役による効率的な職務 の執行を確保するための体制
- 5. メイコーグループにおける業務の適正を確保する ための体制
- 6. 監査役の職務を補助すべき補助使用人に関する 体制
- 7. 監査役への報告に関する体制
- 8. 監査役監査の実効性を確保するための体制

#### 財務報告に関わる内部統制

メイコーでは、「内部統制システムに関する基本方針」を踏まえ、金融庁内部統制実施基準などに従い、自社の評価方針・手続・方法、評価体制、評価範囲、評価スケジュール、評価の記録・保存などに関する方針・計画を策定するとともに、経営者主導による評価体制を定めています。この方針・計画に沿って、2017年度に引き続き2018年度においても連結ベースでの財務報告全体に重要な影響を及ぼす全社的な内部統制(決算・財務報告プロセスを含む)の有効性を評価しました。その結果に基づき、2018年度の内部統制報告書においては、「当社の財務報告に関わる内部統制は有効である」と評価し、監査法人の適正意見をいただきました。



## コンプライアンス活動

#### 2018年の主な活動実績

- コンプライアンスメールマガジンの毎月配信
- コンプライアンスポスターの掲示
- E-ラーニングによるコンプライアンス教育

#### 今後の活動

- ■コンプライアンス意識調査の実施
- ■コンプライアンスハンドブックの改正

メイコーグループでは、コンプライアンスを経営における重要な課題の一つと位置づけ、 法令を遵守し、社会倫理やモラルに則った企業活動を行っています。

そのため「メイコーグループ企業行動憲章」 および「企業行動規範」 により活動の基準を示す とともに、「コンプライアンス規程」 で活動の枠組みを定め、コンプライアンスの推進に取り組んでいます。

#### コンプライアンスポスターの掲示

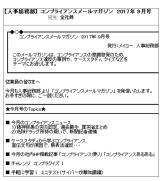
コンプライアンス意識の浸透の為、コンプライアンスポスターを掲示しています。

(同じデザインのA4クリアファイルも作成し社内に展開しています。)



#### コンプライアンスメールマガジンの配信

コンプライアンスメールマガジンを毎月、配信しています。



#### コンプライアンスハンドブック

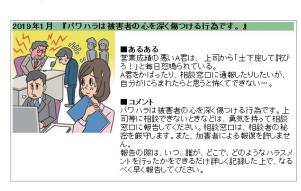
当社では役員・従業員の意識を高めるため、独自のコンプライアンスハンドブックを配布し、同時に社内ホームページにも掲載し、周知を図っています。



コンプライアンスハンドブック

#### コンプライアンス事例の社内HP掲載

コンプライアンス事例を、イラストをまじえて毎 月社内HPにて紹介しています。



#### E-ラーニングによるコンプライアンス教育

E-ラーニングにて、職場のハラスメント防止などのコンテンツを展開するなどして、働きやすい職場環境の確保と、社内の意識醸成を図る取り組みを進めています。



#### 反社会的勢力の排除

メイコーグループでは、企業行動憲章にて暴力 団を始めとする反社会的勢力と一切の関係を持た ないことを揚げ、警察・暴力追放推進センター等の 外部専門機関と緊密な連携を図り、毅然とした態 度でこれらの排除に努めております。

#### 内部通報制度の設置

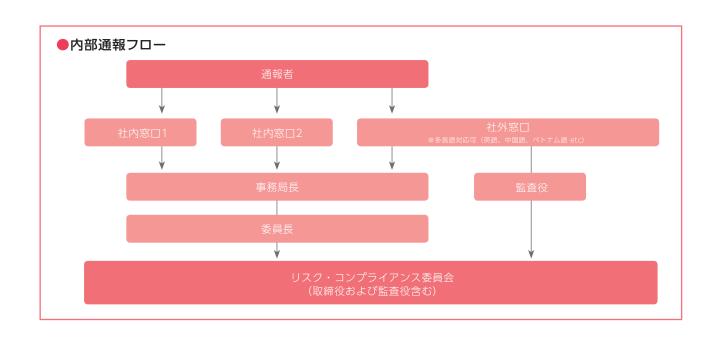
メイコーグループにおいてコンプライアンスを確実に推進していく組織として、コンプライアンス委員会を設置しています。委員会はコンプライアンス担当役員および事務局(総務部門)の招集のもと、取締役・監査役・執行役員を中心に、毎年定期的に実施するほか、必要に応じて実施しています。

## 担当者の声





企業を取り巻く環境はますます複雑化・変化しており、こうした時代に企業が生き残るためには、コンプライアンス活動は必要不可欠なものです。メイコーグループでは、中国 ベトナムの大規模生産拠点の他、米国、欧州、ASEAN諸国に営業拠点を設けており、全世界で1万人を超える従業員が働いております。組織全体でコンプライアンスに対応していくためには、全従業員の一人ひとりの意識や行動が大切で、経営理念・企業行動憲章に掲げた精神を、わかりやすく全従業員に伝えるよう心掛けています。今後も各拠点の担当部門とリスク・コンプライアンス委員会とで連携を図りながら、役員および従業員に向けて教育、周知活動を通じ、信頼される企業づくりを実践していきます。



## 情報セキュリティ

#### 2018年の主な活動実績

■ ISO27001認証の適用範囲の拡大

#### 今後の活動

■ ISO27001認証の維持

電子回路基板の製造・販売を事業領域とするメイコーの事業は、お客様からの大切な情報を適切に管理することによりご信頼をいただくことで、成り立っていると考えています。メイコー全体の情報セキュリティに関する取り組みとして、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際認証規格ISO27001の取得を通じ、お客様との情報に対する管理体制を構築し、維持・強化を図っています。

#### ●情報セキュリティ方針

当社の経営理念に基づき、当社が保有するお客様情報・情報資産を不正アクセス・災害・犯罪などの脅威から保護するため、セキュリティ強化の施策を実施し、また経営陣・従業員の情報セキュリティに対する意識を高めます。ここに情報セキュリティのポリシーを掲げ当社経営理念とともに経営陣・従業員が一丸となり実践することを宣言します。

- 1. 情報セキュリティシステムの継続的な改善
- 2. 情報資産の保護と継続的な管理強化
- 3. 法令・規範の遵守と社会的責任の遂行
- 4. 経営陣・従業員の継続的な教育・訓練
- 5.トラブル発生時の敏速な対応とリスクマネジメントの実施

#### 顧客情報保護

当社情報セキュリティ方針に基づき、お客様の機密情報の保護を徹底しています。

#### 情報セキュリティ教育

メイコーでは、社内ルールの徹底を図るために、 e-ラーニングや集合教育による情報セキュリティ教育を毎年実施しています。



情報セキュリティ講習の様子

#### 個人情報保護

個人情報保護に関する法律を遵守し、個人情報 の適切な取り扱いをおこなうべく、メイコーでは「個 人情報保護規程」を定め、取り扱いに際して厳重 な注意を払っています。

#### 情報セキュリティに関する活動

お客様の大切な情報をお預かりする立場にある メイコーでは、情報セキュリティの重要性を認識し て、2006年の初回認証以降、順次適用範囲の拡 大を行い、情報管理体制の強化を図っています。

2006年 1月 本社情報システム課において、 BS7799-2認証取得

2009年10月 中国武漢工場の対象4部門において認証取得

2010年12月 中国広州工場の対象6部門において認証取得

2016年12月 日本国内 適用範囲拡大

2017年 9月 ベトナム工場の対象3部門において認証取得

2018年11月 日本国内 適用範囲拡大

#### 標的型攻撃メール訓練の実施

情報セキュリティに対する危機意識の強化を図る 為、2017年度以降、毎年、国内の電子メール利用 者全員を対象に擬似メールを発信し、標的型メール 攻撃を疑似体験するための訓練を実施しました。今 後も標的型メール訓練を定期的に行っていく予定 です。

## リスク管理体制

#### 2018年の主な活動実績

- 想定リスク特定・評価の実施
- 緊急対策本部 初動マニュアル策定
- 安否確認サービス訓練(毎年実施)

#### 今後の計画

- 災害備蓄品の配備・増強
- 緊急対策本部 初動訓練
- 安否確認サービス訓練(毎年実施)

メイコーでは、常に当社をとりまく環境、災害、品質、情報セキュリティなどの様々なリスクを想定して、リスク管理についての「リスク管理基本規程」および、これに基づく、「BCP基本方針」「緊急時対応マニュアル」を作成し、さらにお客様の生産計画への影響を最小限におさえるべく、当社の各工場においてBCP(Business Continuity Plan)を作成し、緊急時に備えています。なお、情報系のリスクに対しては、本社のほか山形工場にもサーバーを設置し常時バックアップを取ることでリスクへの備えとしています。

また、万が一災害や事故等が起きた場合には、代表取締役社長を本部長とする「緊急対策本部」を速やかに設置し、原因の究明、状況の把握や今後の対策等の統括的な対応をおこないリスクへの迅速な対処、再発防止に努める体制を整えています。

#### 危機の種類とリスク要因

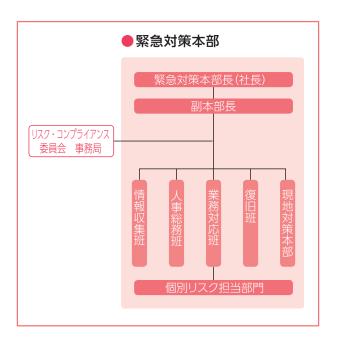
当社をとりまくリスクには、地震・津波などの自然災害のほか、為替変動・マクロ経済状況などの経営環境の変化、海外拠点における政治・経済・インフラ上のカントリーリスク等、様々な要因があります。メイコーでは、これらのリスクに対し各拠点ごとに事前の防止策の検討から事後の復旧に至るまでのBCPを作成し緊急時に備えると共にERM(Enterprise Risk Management)活動を通じてリスクマネジメント体制を強化してまいります。

#### 従業員安否確認システムの導入

震度5弱以上の地震やその他の災害・事故等が発生した際に、該当地域の従業員に対して安否確認や情報伝達をおこなうことを目的として、国内グループ会社の全従業員および海外駐在員を対象とした「安否確認システム」を導入しています。災害発生時に有効活用できるように、年2回、定期的に全社的な訓練を実施しています。

#### グループBCPの構築

メイコーでは様々なリスクに対してビジネスインパクト分析をおこない、目標復旧時間(RTO)、緊急初動体制のシミュレーションを拠点ごとにマニュアル化しています。今後も定期的なBCPの見直しを継続するとともに、確実に遂行するためのシミュレーション訓練、備品の整備、および従業員への啓発などをおこなってまいります。



# **会社概要** (2019年9月30日現在)

#### 本社所在地 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15

- 生産拠点 ●神奈川工場 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15
  - 〒979-0401 福島県双葉郡広野町大字上北迫字岩沢1-2
  - ●山形工場 〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地字真木250
  - ●石巻工場 〒986-0844 宮城県石巻市重吉町8-5
  - ●メイコー研究開発センター 〒243-0427 神奈川県海老名市杉久保南3-35-6
  - ●中国広州工場(名幸電子(広州南沙)有限公司) 中国·広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号
  - ●中国武漢工場(名幸電子(武漢)有限公司) 中国·湖北省武漢市経済技術開発区神龍大道9号
  - ●ベトナム工場 (Meiko Electronics Vietnam Co. ,Ltd.) Lot LD4, Thach That -Quoc Oai Industrial Zone, Hanoi City
  - ●タンロン工場 (Meiko Electronics Thang Long Co., Ltd.) Lot J1-J2, Thang Long Industrial Park, Vong La Commune, Dong Anh district, Hanoi City
  - 株式会社メイコーテクノ 〒242-0025 神奈川県大和市代官1-14-1

#### 設 立 1975年11月25日

#### 資 本 金 12,888百万円

名平篠	屋山﨑	佑一 隆	-郎 英
			英
篠	﨑	πh	
		以	邦
松	$\blacksquare$	孝	広
和	$\blacksquare$	純	也
申		允	浩
土	屋	奈	生
西	Ш	洋	介
露	木	豊	彦
原	$\blacksquare$		隆
佐	藤	孝	幸
	和申土西露原	松 和 申土西露原	松 和 申土西露原 田田 田屋山木田

従業員数11,843名(連結) (国内856名·海外10.987名)

主な事業 電子回路基板等の設計、製造・ 容 販売およびこれらの付随業務の 電子関連事業

#### 主要な経営指標等の推移

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	(億円)	908	952	959	1,085	1,189
営業利益	(億円)	△28	33	57	74	89
経常利益	(億円)	10	△4	29	47	86
当期純利益 (△損失)	(億円)	△95	△112	17	43	67
1株当たり当期純利益(△損失)	(円)	△365.76	△429.83	54.14	160.34	257.65

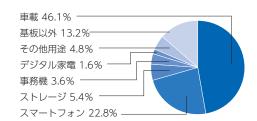
#### 連結売上高の推移



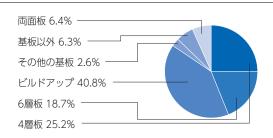
#### 連結経常利益の推移



#### 用途別売上構成比(2019年度)



#### 商品別売上構成比(2019年度)



# 世の中の進化と新しいニーズに応える製品群

メイコーの電子回路基板は、豊かな社会、快適な暮らしの実現に貢献しています。

#### エニーレイヤー基板

超微細加工が可能なCO₂レーザーやフィルドめっきなど最先端の技術を応用した全層自由接続構造のビルドアップ基板で、主にスマートフォンに使用されています。





#### 厚銅基板

太陽光発電やエコカーのハイパワーモーターなど、大電流を流す製品に使用される 基板です。従来の基板と比べ回路用の銅パターンを大幅に厚くし、放熱性を改善しています。





## 両面・多層スルーホール基板

2層から10層以上のものまで、また高い耐熱特性や物理特性を持つ特殊なものから一般品まで、広範な用途に使用されています。





#### ビルドアップ基板

絶縁層上に導体パターンを形成した後に、 一層ずつ積み重ねていく多層基板で、各層 の接続部分の上にも配線ができるため、高 密度化、高集積化が可能です。携帯電話、デ ジタルカメラなど、限られたスペースに高密 度の配線を必要とする機器に使用されています。





#### モジュール基板

ベアチップ実装や高密度実装に対応する 超薄型構造のビルドアップ基板で、通信モ ジュール、カメラモジュールなど各種パッ ケージモジュールに使用されています。





## メタルベース放熱基板

長寿命で環境にやさしい製品の代表であるLEDチップを搭載する基板です。家庭やオフィスにおける各種照明や液晶テレビのバックライト、自動車のヘッドライト等に使用されています。





## 部品内蔵基板

チップコンデンサやチップ抵抗などを基板内に埋め込んだ基板です。表面実装ICと内蔵受動部品を最短配線することにより、電気特性を向上させることが可能です。

